

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3929 URL <https://www.socialwire.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 峰之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 藤原 直美 TEL 03-5363-4872
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	674	18.3	87	95.6	84	129.0	59	384.8
29年3月期第1四半期	569	—	44	—	36	—	12	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 56百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 2百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	21.93	20.26
29年3月期第1四半期	4.67	4.15

(注) 当社は、平成28年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	2,380	901	36.7	318.65
29年3月期	2,280	890	37.9	316.67

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 874百万円 29年3月期 865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成29年3月期期末配当金の内訳 : 普通配当 16円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	10.5	270	22.2	260	22.8	170	29.0	60.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	2,782,400株	29年3月期	2,771,500株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	38,482株	29年3月期	38,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	2,734,851株	29年3月期1Q	2,644,061株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景として企業収益や雇用環境が改善し緩やかな回復基調となりましたが、英国のEU離脱、米国大統領の政策等の影響による海外経済の不確実性の高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは「アジアBP0プラットフォームの構築」をビジョンとし、既存事業の拡大・売上高の最大化に注力し足元の業績を成長させてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は674,261千円（前年同期比18.3%増）、営業利益87,136千円（前年同期比95.5%増）、経常利益84,338千円（前年同期比129.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益59,987千円（前年同期比384.8%増）となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりです。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

(ニュースワイヤー事業)

ニュースワイヤー事業は、企業や官公庁・団体等に対して、製品やサービス、事業等に関するプレスリリース文書の校正や配信メディアの選定から、リリース配信、掲載結果の調査・報告を実施しております。

プレスリリース配信代行サービス「アットプレス」については従量配信数の増加（前年同期比14.1%増）、単価についてはほぼ横ばいとなりました。メディアクリッピングサービス「アットクリッピング」については案件数は増加（前年同期比13.4%増）、単価についても増加いたしました。

この結果、ニュースワイヤー事業の売上高は326,613千円（前年同期比19.6%増）となり、セグメント利益は113,620千円（前年同期比80.4%増）となりました。

(インキュベーション事業)

インキュベーション事業は、アジア主要8都市（東京（新宿2拠点、六本木、青山、渋谷）、仙台、シンガポール、インドネシア（※）、インド、ベトナム、フィリピン、タイ）でレンタルオフィス「CROSSCOOP」を運営しております。

当第1四半期連結累計期間においては、渋谷拠点を新規開設いたしました。これにより国内拠点については累積稼働席数が大幅に増加（前年同期比26.4%増）し、単価については横ばいとなりました。海外拠点については既存拠点の累積稼働席数が大幅に増加（前年同期比25.7%増）し、単価については微減いたしました。

この結果、インキュベーション事業の売上高は289,732千円（前年同期比17.3%増）となり、セグメント利益は22,299千円（前年同期比21.7%減）となりました。

（※）インドネシアはフランチャイズによる運営です。

(その他)

各報告セグメントに属さないトランススマート株式会社のクラウド翻訳事業については新規事業として取り組んでおり、現状は「その他」の区分としております。

当第1四半期連結累計期間については、クラウド翻訳サービス「TRANSMART」の更なる新規顧客開拓を行ってまいりました。

この結果、その他の売上高は57,916千円（前年同期比16.4%増）となり、セグメント利益は2,657千円（前年同期は449千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は2,380,911千円と、前連結会計年度末に比べ100,024千円の増加となりました。資産の増加の主な原因は、受取手形及び売掛金が15,995千円増加、建物が61,412千円増加、差入保証金が15,257千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は1,479,709千円と、前連結会計年度末に比べ89,435千円の増加となりました。負債の増加の主な原因は、未払金が35,908千円増加、前受金が13,623千円増加、長期借入金が35,638千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は901,201千円と、前連結会計年度末に比べ10,589千円の増加となりました。純資産の増加の主な原因は、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,435千円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益が59,987千円計上による増加があった一方で、配当金の支払により49,195千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績見通しについては、当第一四半期連結累計期間の実績が見通しに沿って推移しているため、平成29年4月28日に公表した業績見通しから変更はありません。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	500,134	491,534
受取手形及び売掛金	179,069	195,065
その他	135,017	128,277
貸倒引当金	△6,101	△5,077
流動資産合計	808,120	809,800
固定資産		
有形固定資産		
建物	655,321	716,734
工具、器具及び備品	208,302	224,595
その他	11,321	9,509
減価償却累計額	△281,683	△301,449
有形固定資産合計	593,262	649,389
無形固定資産		
のれん	43,250	40,774
ソフトウェア	182,082	173,290
その他	21,842	35,062
無形固定資産合計	247,175	249,127
投資その他の資産		
差入保証金	553,376	568,633
その他	103,938	128,746
貸倒引当金	△24,986	△24,787
投資その他の資産合計	632,328	672,592
固定資産合計	1,472,765	1,571,110
資産合計	2,280,886	2,380,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	191,204	209,182
未払金	163,400	199,308
未払法人税等	39,985	28,074
前受金	377,771	391,394
その他	148,328	142,245
流動負債合計	920,689	970,205
固定負債		
長期借入金	404,387	440,025
資産除去債務	62,618	66,932
その他	2,577	2,546
固定負債合計	469,583	509,504
負債合計	1,390,273	1,479,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	309,220	310,655
資本剰余金	251,220	252,655
利益剰余金	334,060	344,851
自己株式	△44,976	△45,107
株主資本合計	849,523	863,054
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,976	11,307
その他の包括利益累計額合計	15,976	11,307
新株予約権	593	717
非支配株主持分	24,517	26,122
純資産合計	890,612	901,201
負債純資産合計	2,280,886	2,380,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	569,697	674,261
売上原価	264,644	333,343
売上総利益	305,053	340,918
販売費及び一般管理費	260,504	253,781
営業利益	44,549	87,136
営業外収益		
受取利息	313	526
その他	290	901
営業外収益合計	603	1,427
営業外費用		
支払利息	1,854	1,844
為替差損	5,929	2,382
その他	551	0
営業外費用合計	8,334	4,226
経常利益	36,818	84,338
特別利益		
負ののれん発生益	2,760	—
特別利益合計	2,760	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	13,744	—
特別損失合計	13,744	—
税金等調整前四半期純利益	25,834	84,338
法人税、住民税及び事業税	8,722	22,893
法人税等調整額	4,661	△460
法人税等合計	13,384	22,433
四半期純利益	12,449	61,904
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	1,917
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,372	59,987

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	12,449	61,904
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△9,650	△4,983
その他の包括利益合計	△9,650	△4,983
四半期包括利益	2,799	56,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,495	55,317
非支配株主に係る四半期包括利益	△695	1,604

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ニュースワイヤー 事業	インキュベーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	272,968	246,998	519,967	49,729	569,697	—	569,697
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	211	211	△211	—
計	272,968	246,998	519,967	49,941	569,908	△211	569,697
セグメント利益 又は損失(△)	62,979	28,480	91,459	△449	91,010	△46,461	44,549

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業として取り組んでいるクラウド翻訳事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46,461千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	ニュースワイヤー 事業	インキュベーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	326,613	289,732	616,345	57,916	674,261	—	674,261
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	278	278	△278	—
計	326,613	289,732	616,345	58,194	674,540	△278	674,261
セグメント利益	113,620	22,299	135,919	2,657	138,577	△51,441	87,136

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業として取り組んでいるクラウド翻訳事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△51,441千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。